



【2012-2013年度 RIテーマ】

**FUJIEDA ROTARY CLUB**  
**藤枝ロータリークラブ会報**

例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321  
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040  
 URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：仲田 廣志 副会長：大塚 博巳 幹事：池ノ谷 敏正 副幹事：森下 敏顯

**第1991回**



【シャガ】

写真提供：鈴木舜光君

■ ソング それでこそロータリー ■ ソング リーダー 平 和則君

## 会長報告

仲田 廣志君

皆さん、こんにちは。  
 先週日銀の異次元  
 の金融政策が発表  
 されたのを受けて、  
 市場が大きく反応  
 して株価の大幅な



変動がニュースとなっていますが、物造りをして  
 いる中小の会社は、相変わらず受注減に苦慮して  
 いるというのが現実のように思います。金融バブ  
 ルとならないで実体経済が好転していることを願  
 いたいと思います。さて、ロータリーの201  
 2～13年度も第4コーナーへと入ってまいりま  
 した。来週は創立夜間例会です。その翌週は高野  
 ガバナーをお迎えしての産業大学の冠講座です。  
 そして5月には会員家族親睦旅行が計画されてい  
 ます。6月12日は藤枝クラブ2000回目の例  
 会となります。例年、年度の最終回が夜間例会と  
 いうのが通例ですが、今年は1週間前の例会を2  
 000回記念夜間例会とさせていただくことにな  
 りました。2000回を会員家族一同でお祝いし  
 たいと思います。これから3ヶ月の中いくつか  
 の大きなイベントが組まれています。大塚副会長  
 のもとに次年度の助走も始まっています。会員の  
 皆様のご協力、お力添えをいただき「より楽し  
 く意義感じられるクラブ」を求めて残り3ヶ月進  
 めていきたく思っています。そして、大塚年度に  
 少しでもいい形でお繋ぎ出来るように頑張りたい  
 と思っていることをお伝えして会長報告とさせて  
 いただきます。

## 出席報告

中森 義次君

| 本日のホームクラブ<br>出席者 | 前回の補正出席者       |
|------------------|----------------|
| 29 / 41 70.73%   | 32 / 41 78.04% |

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○石垣君 ○石割君 ○河井君 ○久島君  
 ○栗原君 ○竹田君 ○間野君 ○山田君  
 大杉君 落合君 仲田晃君 松葉隆君

(2)メイクアップ者

河井 宏文君(島田)

## 会員卓話

大塚 高弘君



神社のお話

神社建築には出雲大社の大社造と伊勢神宮の神明  
 造、住吉大社の住吉造りが代表的

大社造 - 掘立柱、切妻、妻入りでほぼ正方形

神明造 - 掘立柱、切妻、平入りで間口が広い長方  
 形

住吉造 - 切妻、妻入り、間口2間、奥行き4間の  
 長方形(内陣、外陣各2間)

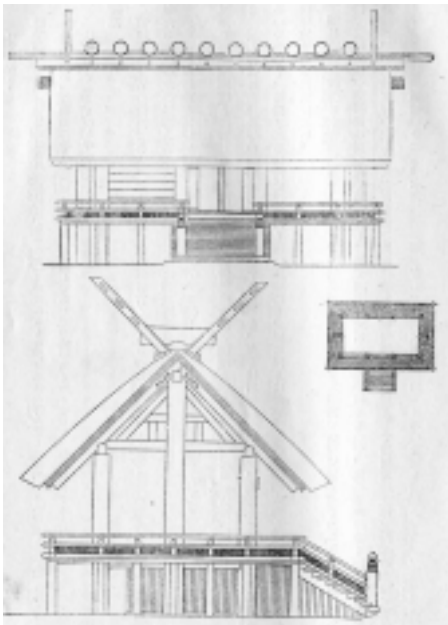
大社造、神明造にくらべて床が低い



大社造



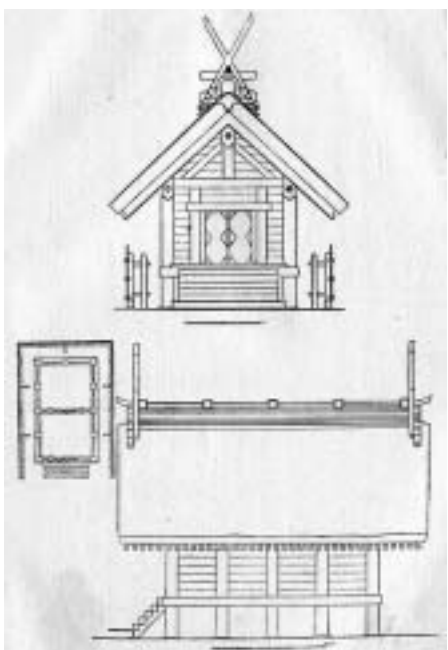
千木と鯉木



神明造



外削ぎ（そとそぎ）



住吉造



内削ぎ（うちそぎ）

千木(ちぎ)は、先端を垂直に削る外削ぎと、  
水平に削る内削ぎの2種類

鯉木(かつおぎ)は、偶数本と奇数本

内削ぎの千木には鯉木は偶数本であり、女神が祀られている。

外削ぎの千木には鯉木が奇数本で男神を祀っている。

出雲大社は、外削ぎ・奇数本であるから男神の大国主大神を祀っている。

伊勢神宮の内宮は内削ぎ・偶数本であるから女神の天照大御神を祀っている。

外宮は外削ぎ・奇数本であるから男神の豊受大神宮(衣食住の守り神)を祀っている。

神社には国津神系と天津神系があり外削ぎは男神で国津神系、内削ぎは女神で天津神系

神社の社格

官社・諸社・無格社

官社 - 官幣社(二十二社、天皇・皇族を祀る神社)と国幣社(各国の一宮)

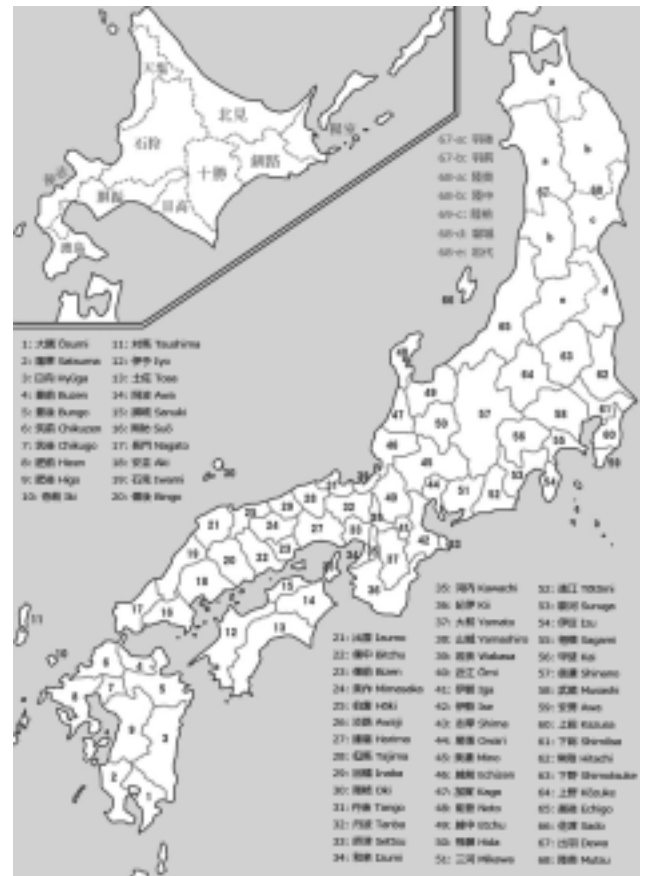
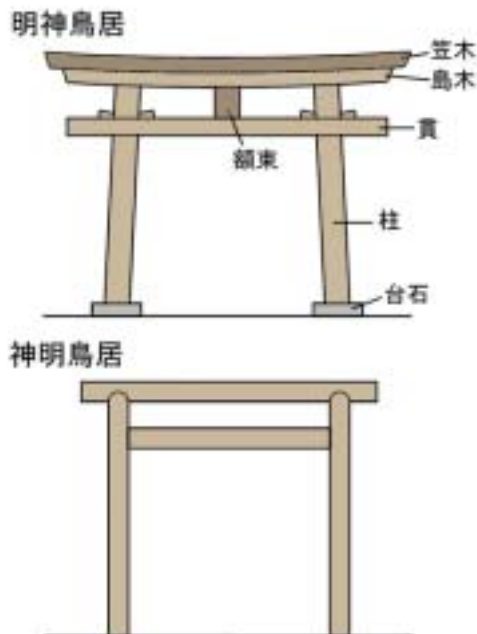
官幣大社 > 国幣大社 > 官中 > 国中 > 官小 > 国小 > 別格官社

諸社 - 府県社と郷社、村社

無格社 - それ以外の氏神 (59,997社)

二十二社とは上七社・中七社・下八社で朝廷から特別な奉幣を受けた神社

一宮は全国に106社 祭神は国津神系が多い(静岡県は、伊豆国・三島大社、駿河国・富士山本宮浅間大社、遠州国・小国神社(森町)、事任神社(掛川))



年々横着になってきて、三分間スピーチも間際になって何をしゃべろうかとあわてて考えてみました、最近気になった



というか、自分も変わらなきゃと思わせてくれた番組がありましたので、その話をしたいと思います。

だいたい、いつも仕事が終わって食卓につくと、商売柄、明日の天気予報をチェックしようとニュースをみるのですが、ちょうど7時半でニュースが終わってしまい、チャンネルを変えようかとも思ったのですが、プロサッカー選手本田圭祐の500日を追ったドキュメント番組がはじまり、野球よりゴルフよりサッカーが好きな自分ですので、そのまま見ていました。

本田選手といえば、2010年のワールドカップ南アフリカ大会で、日本のベスト16進出の原動力となり、フリーキックを無回転シュートで点を入れたシーンなんかは今も鮮明に思い出すくらい圧倒的な活躍をして、海外のビックネームのチームからオファーがくるのではと注目された選手でした。が、その数か月後に右ひざ半月板を半分以上取り除くという大きなけがをして、まさに天国と地獄を味わったわけですが、けっして下を見ることなく、逆に「けがをしたことをチャンスだ」といってのけ、リハビリに費やされる時間を逆手にとって、瞬発力向上を目指した肉体改造に着手していきます。そしてみごとに進化した姿をピッチ上で見せつけ、今、行われていますワールドカップブラジル大会・アジア最終予選でも、日本代表のロケットスタートを演出する活躍を見せてくれました。

ですが、最近のことですのでご存知の方も多いと思いますが、あと一勝するか引き分けでワールドカップへの予選通過という時にまた、ケガが再発し思うようなプレーができずに現在いる状態です。

この番組を観る前は、本田選手のイメージとい

うのが、外見も金髪ですし先輩も後輩も関係ないような言動もあり、見栄っ張りな感じでどちらかというと自分は嫌いな選手でありました。

「世界一あきらめの悪い男」というサブタイトルがついていた通り、彼のサッカー人生は、幾多のけがや挫折を味わい必死にもがいて度重なる試練を乗り越えてきたことが解り、数々の「ビックマウス」の裏側には子供のころに抱いた「世界一のサッカー選手になる」という夢をあきらめることなく挑み続ける強い精神力があつてのことと彼への見方が変わりました。

番組では、その道のプロとは、常に挑戦し、数々の修羅場をくぐり、自分の仕事と生き方に確固とした「流儀」を持っている仕事人であると結んでいます。

50歳を目の前に控え、とかくあきらめが早くなっている自分ですが、「今」は「過去」より熱いという言葉に胸にまだまだ「未来」に挑戦していきたいと思います。

(担当/池谷君)